

2025年度 事業報告

2025年度事業報告

■ 事業部門

1. 学校教育に対する研究・助成事業

[1] 実践研究助成

- (1) 2025年度(第51回)実践研究助成 助成概要
- (2) 2025年度(第51回)助成金贈呈式・スタートアップセミナー
- (3) 実践研究支援活動
- (4) 報告書評価(一般助成校)
- (5) 成果事例の発信
- (6) 2026年度(第52回)実践研究助成 募集・選考

[2] プレゼンテーションコンクール

[3] 共同研究

2. こころを育む総合フォーラム

[1] フォーラムメンバー会議

[2] 表彰事業

- (1) 2025年度 子どもたちの“こころを育む活動” 募集・選考
- (2) 2025年度 子どもたちの“こころを育む活動” 表彰式
- (3) フォーラム設立20周年記念イベント
「こころを育むフェス ～はじめてのドーンソーカイ～」

3. 広報関係

[1] 情報発信活動の拡充

[2] 刊行物

[3] 教育機関、学会、他団体等との連携による情報発信

■ 管理部門

1. 会議開催

[1] 理事会

[2] 評議員会

(別紙1) 2025年度(第51回)実践研究助成 助成先一覧(70件)

2025年度事業報告

■ 事業部門

1. 学校教育に対する研究・助成事業

[1] 実践研究助成

(1) 2025年度(第51回)実践研究助成 助成概要

- [対 象] 小学校、中学校、義務教育学校・小中一貫校、高等学校、中等教育学校・中高一貫校、特別支援学校、在外教育施設、教育委員会・教育センター、複数校による教育研究グループ
- [助成件数] 70件 助成先は議案書12～13ページ(別紙1)に掲載
※ 応募総数 231件 (倍率3.3)
※ 選考委員会 2025年2月19日開催、発表 2025年3月14日
- [金 額] 総額 3,420万円
〈一般助成校〉 50万円(課題テーマ)×54件、30万円(自由テーマ)×14件
(助成期間) 2025年4月～2026年3月
〈特別研究指定校〉 150万円×2件、アドバイザーの訪問アドバイス(3回/年)
(助成期間) 2025年4月～2027年3月

(2) 贈呈式・スタートアップセミナー

- [目 的] 実践研究推進のための学びの場として
- [日 時] 2025年5月30日 13時～18時半頃
- [場 所] KFC Hall&Rooms(東京都墨田区)
*ホールで全体行事、複数の会場でグループ協議
- [概 要] <第1部> 助成金贈呈式 (YouTubeでライブ配信し、各校での視聴可能に)
① 理事長挨拶
② 来賓祝辞 (大臣祝辞代読)・ご講演
文部科学省 初等中等教育局 学校情報基盤・教材課 寺島史朗課長
③ 奨励状授与、助成先代表校抱負(一般助成校1校)
④ 励ましの言葉 東京工業大学(現・東京科学大学) 赤堀侃司 名誉教授
(選考委員長)
⑤ 2024年度(第50回)一般の研究成果報告書表彰校と専門委員との
パネルディスカッション
<第2部> スタートアップセミナー (一部オンラインのハイブリッドで実施)
⑥ グループディスカッション
62校(79名)と専門委員(35名)が、校種・地域毎の20グループに分かれ、
1年間の実践研究活動の進め方について協議行い、助言を受けた。
⑦ パナソニックグループからの学校向け各種支援プログラムの紹介
<第3部> 交流会 (自由参加)
- [参加者] 第1部 計134名 (助成先70名、専門委員27名、来賓等19名、配信視聴18名)
第2部 計114名 (助成先70名、専門委員31名、

Zoom助成先9名、Zoom専門委員4名)

第3部 計91名 (助成先65名、専門委員26名)

(3) 実践研究支援活動

〔目的〕 助成先での実践研究が目標とする成果を上げられるように、また他校の参考にもなる良い事例になるように支援し、そのプロセスも適宜情報発信する。

- 〔概要〕
- ① 一般助成向け「実践研究オンラインサポート」 [通年]
助成スタート時に参加希望校を募集し、24校が参加。(専門委員8名でサポート)
年間を通じWEBコミュニケーションツールを活用し、実践を進める上での課題や疑問に対し、専門委員が適時アドバイスをを行い、研究推進を支援。
 - ② 特別研究指定校に対する訪問アドバイス(専門委員派遣) [通年]
 - 2024年度(第50回)特別研究指定校: 3校 各3回
 - 2025年度(第51回)特別研究指定校: 2校 各4回(事前訪問1回含む)
 - ③ 報告書等提出ホームページ掲載 [通年]
 - 一般助成校: スクールフォトレポート(年3回)、研究成果報告書(年度末)
 - 特別研究指定校: 活動報告書(年3回)、研究成果報告書(年度末)

(4) 報告書評価(一般助成校)

〔目的〕 一般助成の1年間の実践と成果をまとめた「研究成果報告書」を専門委員が評価し、優れたものを表彰。表彰校については、その成果や実践過程について、他校が参考とできるように発表の機会を作り、広く発信する。

- 〔概要〕
- ① 2024年度一般助成の「研究成果報告書」を、11名の専門委員により、完成度、独自性、汎用性などの視点で評価、「優秀賞」5件、「奨励賞」5件を選定。
 - ② 2025年度(第51回)の助成金贈呈式場で表彰校を発表後、表彰校3校と専門委員によるパネルディスカッションを実施。実践を進める上での「問い」の立て方、校内の巻き込み方等、贈呈式に出席している次期実践校に伝えた。
 - ③ 表彰校にはJAET主催の全日本教育工学研究協議会全国大会(JAET全国大会)での個別の研究成果発表を促し、発表校へは大会参加費用の補助と、専門委員による発表指導を行った。優秀賞1校、奨励賞4校の計5校が発表を行った。

優秀賞 (5件)	札幌市立中央小学校(北海道)
	鳴門市立黒崎小学校(徳島県)
	国立大学法人広島大学附属三原中学校(広島県)
	兵庫県立氷上特別支援学校(兵庫県)
	北海道高等学校遠隔授業配信センター(北海道)
奨励賞	横浜市立旭小学校(神奈川県)

(5件)	守口市立よつば小学校(大阪府)
	新潟市立小新中学校(新潟県)
	東京都立大島高等学校(東京都)
	道南情報教育研究会ネットワーク(北海道)

(5) 成果事例の発信

〔概要〕

- ① 報告書、専門委員講評を財団ホームページに掲載
 - 各助成先の成果報告書をホームページで公開、キーワード検索等も可能に
 - 特別研究指定校の活動報告や一般助成の表彰校には、専門委員の講評も掲載
- ② 2023年度(第49回)特別研究指定校 成果報告会
 - 1) 2025年6月5日 2校 (「New Education Expo東京」会場)
 - 2) 2025年8月7日 2校 (「関西教育ICT展」会場)
 - 2023年度～2024年度の2年間の実践研究を終了した2校と、ご指導をいただいたアドバイザー(各校1名)による研究成果の発表
 - 会場+オンラインで実施、双方からの質疑応答なども行った。

<参加者>①会場参加:100名、オンライン視聴者:27名、計127名

②会場参加:92名、オンライン視聴者:54名、計146名(のべ人数)

- 3) 全日本教育工学研究協議会全国大会・茨城つくば大会(11月14日～15日)
 - 2023年度(第49回)特別研究指定校2校の個別研究成果発表
 - 2024年度(第50回)一般助成 優秀賞、奨励賞、計5校の個別研究成果発表

(6) 2026年度(第52回)実践研究助成 募集・選考

〔目的〕

量と質の両面でのレベルアップ、特別研究指定校の応募数増を目指して

〔対象〕

小学校、中学校、義務教育学校・小中一貫校、高等学校、中等教育学校・中高一貫校、特別支援学校、在外教育施設、教育委員会・教育センター、複数校による教育研究グループ

〔期間〕

募集: 2025年10月31日～2026年1月20日

選考: 2026年1月23日～2026年3月5日

〔件数〕

※ 応募 224件 (一般:210件、特別研究指定校:14件) 前年比97.0%

※ 採択 70件 (一般:66件、特別研究指定校4件) 倍率3.2

*発表後に一般1校が辞退(繰り上げは無し)

〔概要〕

<募集>

- ① 全国の教育委員会(1,789)と校長会(94)へ事業案内状と募集チラシを送付
- ② 35都道府県の公立学校(22,023)の学校長宛てに募集DMを送付
- ③ 教育専門紙3紙への募集広告掲載、全国新聞社(96社)の教育担当記者宛にリリース送付
- ④ 在外教育機関向けには(公財)海外子女教育振興財団を通じての告知を継続

- ⑤ 関西教育ICT展やJAET全国大会での募集告知、財団メルマガやSNSでの募集告知
- ⑥ 実践研究助成説明セミナー:助成事業の周知と、申請を悩んでいる学校の「背中を押す」取り組みとして、一般向け・特別研究指定校向けに分けてオンラインセミナーを開催
 - ・一般向け:登録者118名、参加者72名
 - ・特別研究指定校向け:登録者29名、参加者22名
- ⑦ 特別研究指定校の応募数増を目的として、新たに以下の施策を実施
 - ・特別研究指定校向けの実践研究助成説明セミナーを開催(上記参照)
 - ・特別研究指定校向けの募集DMを作成し送付(1,340)
 - ・一般と特別研究指定校の同年度重複応募を可に変更(どちらも合格の場合は、特別研究指定校として採択)
 - ・特別研究指定校の募集対象に教育委員会を追加

<選考>

- ⑧ 1月23日～2月6日:56名の専門委員による申請書審査(オンライン)
- ⑨ 224校を校種・地域等で17グループに分けて、3～4名(一般)・6名(特別研究指定校)の専門委員で審査
- ⑩ 2月21日:特別研究指定校事前候補審査会(対面)
- ⑪ 2月25日:選考委員会(対面) ⇒3月5日:理事会にて承認

(7) 運営体制の充実を図るための取組み

- 〔概要〕 次年度の実践研究助成金を保証するため公益充実資金を設定
- 〔名称〕 実践研究助成積立資産
- 〔対象〕 第52回実践研究助成
- 〔金額〕 助成金総額3,740万円

<助成金総額内訳>

一 般	30万円×8校	240万円
	50万円×58校	2,900万円
特別研究指定校	150万円×4校	600万円

[2] プレゼンテーションコンクール

- 〔目的〕 ICT活用した教育による児童・生徒の学びの発表の機会を提供
プレゼンスキルだけではなく、いかに深く考えをまとめ、それを表現したかを評価
- 〔対象〕 小学校・中学校(中等教育学校前期含む)、特別支援学校、在外教育施設
*1校につき2名まで応募可
- 〔応募様式〕 「わたしの考え方や行動が変わるきっかけとなったこと
～人との出会いや自分自身の体験、夢中になって取り組んでいることなどを通じて～」をテーマに作成した、3分間のプレゼンテーション動画を提出
- 〔期間〕 募 集: 2025年7月1日～2025年10月10日

選考：2025年10月～2025年12月

〔最終選考〕 2025年12月6日 イイノホール&カンファレンスセンター

〔概要〕 <募集・選考>

① 過去参加校へのメール、各種無料媒体の活用、当財団のメルマガ等での募集告知、過去受賞者(5年間)の学校エリアの新聞社へ案内送付

[応募数] 小学校:14校26名(前年27名)、中学校:22校35名(前年27名)

② 応募者には、本人と学校それぞれに参加賞として千円分の図書カードを贈呈

③ 財団内の事前選考会議により、小学校:18名、中学校:19名へ選抜

④ 予備選考会議により、小学校:5名、中学校:5名の最終選考会出場者を選出

<最終選考・表彰式>

⑤ 予備選考会議で選出された小学生・中学生各5名が、イイノカンファレンスセンターの大スクリーンで3分間のプレゼンテーションを実施

⑥ 市川伸一先生(選考委員長)、篠ヶ谷圭太先生、小林寛子先生、小山義徳先生、高橋麻衣子先生、小野理事長の6名の選考委員による審査・最終選考で各賞を選出

⑦ 選考会議中の時間に、小・中に分かれて出場者同士の交流・協議の場を設定

⑧ 会場ステージで各賞の発表と賞状・メダルの授与

⑨ 市川選考委員長による全体講評(閉式後、市川先生と教員との情報交換会実施)

〔受賞者〕

賞名	小学校の部	中学校の部	副賞(賞金)
最優秀賞	国立大学法人 大阪教育大学附属天王寺小学校 神宮司 陽太	いちき串木野市立羽島中学校 福菌 穂門	本人:5万円 学校:5万円
優秀賞	岩沼市立岩沼小学校 櫻井 稟大朗	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学教育学部附属中・高等学校 川道 かのん	本人:3万円 学校:3万円
奨励賞	さいたま市立岩槻小学校 白石 道之助	豊中市立第十一中学校 大塚 夏	本人:1万円 学校:1万円
	武蔵野市立井之頭小学校 池脇 みこと	北本市立西中学校 加藤 千紗	
	大阪市立北粉浜小学校 夏秋 理央	学校法人嘉悦学園 かえつ有明中・高等学校 浅野 怜花	

[3] 共同研究

(1) 日本教育工学協会(JAET)との連携による発信強化

〔研究課題〕 つくばから発信! ～未来を創造する次世代の学び～

〔研究主体〕 全日本教育工学研究協議会 つくば(茨城県)大会 実行委員会
〔期 間〕 2024年6月～2026年3月、大会:2025年11月14日(金)～15日(土)
〔助成金〕 200万円 (予算200万円)

2. こころを育む総合フォーラム

[1] フォーラムメンバー会議

〔実施日〕 第1回全体会議：2025年4月24日 … 2025年度の活動方針確認
第2回全体会議：2025年10月17日 … 一次選考会
第3回全体会議：2025年12月4日 … 最終選考会

〔フォーラムメンバー〕（敬称略）

鷺田 清一（座長）、入江 杏、小国 綾子、工藤 啓、玄田 有史、鈴木 みゆき、
高際 伊都子、堂本 晃代、増田 明美、山極 壽一

[2] 表彰事業

(1) 2025年度 子どもたちの“こころを育む活動”募集・選考

〔目的〕 「子どもたちの“こころを育む活動”」の普及と拡大
〔対象〕 地域、学校、NPO法人、任意団体、等が行う「子どもたちの“こころを育む活動”」
〔期間〕 募 集：2025年7月8日～9月3日
選 考：2025年9月4日～12月4日
〔募集・選考〕 ① 募 集：新聞社、福祉活動ポータルサイト、等での募集記事掲載、及び、
社会福祉協議会、公民館、等での募集告知の掲示・配布（7月8日～9月3日）
→ 過去最多となる261件の応募を獲得
② 事前選考会：事務局にて31件の受賞候補を選定（9月17日）
③ 一次選考会：フォーラムメンバーにより受賞候補7件を選定（10月17日）
④ 取 材：フォーラムメンバー及び事務局により受賞候補7件を現地取材
（11月6日～27日）
⑤ 最終選考会：フォーラムメンバーにより全国大賞1件、優秀賞4件、特別賞2件
を決定（12月4日）

(2) 2025年度 子どもたちの“こころを育む活動”表彰式

〔実施日〕 2026年2月6日
〔場 所〕 霞山会館「霞山の間」（霞が関コモンゲート西館37階）
〔次 第〕 ① 財団からのごあいさつ（小野理事長）
② 来賓ごあいさつ（文部科学省 総合教育政策局 社会教育振興総括官 神山 弘）
③ 受賞候補活動の紹介
④ 特別賞・優秀賞・全国大賞の発表、各受賞団体からのコメント
⑤ 祝辞（座長 鷺田 清一）
〔参加者〕 今年度受賞7団体、フォーラムメンバー、文部科学省総合教育政策局 神山総括官、
募集協力団体、当財団関係先、当財団顧問・役員・評議員、他（計約80名）

[受賞活動・団体]

賞名 (賞金)	活動名称 団体名 (所在地)
全国大賞 (50万円)	非行というものがきに、応答という支援を 特定非営利活動法人 風の家 (広島県)
優秀賞 (20万円)	「わたしもだいじ あなたもだいじ」を育む 一般社団法人 グリーフサポートせたがや (東京都)
	世界の文化をみんなでワクワク体験しよう！ 瀬田東国際交流クラブ (滋賀県)
	子どもの成長に本当に大切なことを活動に 福岡津屋崎子ども劇場 (福岡県)
特別賞 (20万円)	「わらべ歌から世界の名曲まで」歌い継ごう いしがき少年少女合唱団 (沖縄県)
	絵本で豊かな心を育み、笑顔があふれる街に NPO法人 絵本による街づくりの会 (滋賀県)
	「今」だからこそ地域をつなげる子ども会 さい子ども会 (岡山県)

(3) フォーラム設立20周年記念イベント「こころを育むフェス ～はじめてのドーソーカイ～」

[実施日] 2026年2月6日

[場 所] 霞山会館「牡丹の間」(霞が関コモンゲート西館37階)

[次 第] ① 歴代全国大賞受賞団体とフォーラムメンバーによる共同プレゼンテーション
② 受賞団体間交流企画

[参加者] 歴代受賞団体22団体、今年度受賞7団体、フォーラムメンバー、当財団関係先、
当財団役員・評議員、協力企業、他 (計約100名)

3. 広報関係

[1] 情報発信活動の拡充

(1) ホームページ: 財団の事業活動案内や助成先・表彰団体等の取組内容及び成果を発信

〔来訪者数〕 62,726人 (前年比 94%)

〔イベント数〕 543,696件 (前年比 90%)

(2) メールマガジン: 過去に助成に応募した学校・団体や教育関係者などに対し、財団からの情報やICT教育関連の各団体等からの各種お役立ち情報を定期的に発信

〔配信回数〕 49回(前年比100%)

〔配信数〕 3,899件 (年間平均配信数、前年比107%)

[2] 刊行物

- パナソニック教育財団50年の歩み(発行月:2026年2月)
- こころを育む総合フォーラム 2025年度 活動報告書 (発行月:2026年3月)

[3] 教育機関、学会、他団体等との連携による情報発信

- 日本教育工学協会(JAET)の全国大会(茨城つくば大会)で助成校15校が実践研究の成果を発表。
- 全国の教育委員会及び学校への助成事業の募集告知、あるいは社会福祉協議会、公民館連合会等への表彰事業の募集告知通じて財団活動の内容を発信した。

■ 管理部門

1. 会議開催

[1] 理事会

- (1) 第60回理事会（2025年5月27日）
 - 第1号議案 2024年度事業報告及び決算報告の件
 - 第2号議案 2025年度事業計画に基づく共同研究の件
 - 第3号議案 第15回 定時評議員会開催の件
 - 報告事項 職務執行報告(2025年3月～4月)
- (2) 第61回理事会（2025年6月16日）
 - 第1号議案 理事長等選任の件
- (3) 第62回理事会（2025年11月5日、書面決議）
 - 第1号議案 理事会運営規則改正の件
 - 第2号議案 書面決議による臨時評議員会を招集する件
- (4) 第63回理事会（2025年12月17日、書面決議）
 - 第1号議案 こころを育む総合フォーラム2025年度子どもたちの“こころを育む活動”受賞活動の件
- (5) 第64回理事会（2026年2月9日、書面決議）
 - 第1号議案 書面決議による臨時評議員会を招集する件
- (6) 第65回理事会（2026年3月5日）
 - 第1号議案 2026年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件
 - 第2号議案 特定費用準備資金の設定の件
 - 第3号議案 代表理事・副理事長選任の件
 - 報告事項 職務執行報告(2025年5月～2026年2月)

[2] 評議員会

- (1) 第15回定時評議員会（2025年6月16日）
 - 第1号議案 2024年度 事業報告及び決算承認の件
 - 第2号議案 理事選任の件
 - 第3号議案 監事選任の件
 - 報告事項 2025年度 事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込み
- (2) 臨時評議員会（2025年11月17日、書面決議）
 - 第1号議案 定款改正の件
 - 第2号議案 評議員会運営規則改正の件
- (3) 臨時評議員会（2026年2月13日、書面決議）
 - 第1号議案 理事選任の件

(別紙 1)

■ 2025年度(第51回)実践研究助成 助成先一覧(70件) ■

- 一般 68件：小学校 21件、中学校 13件、高等学校 10件、
義務教育学校・小中一貫校/中等教育学校・中高一貫校 8件、特別支援学校 7件、
複数校の研究者による教育研究グループ 9件
テーマ別件数：課題テーマ①(1人1台端末活用) 42件、課題テーマ②(教員研修・校務DX) 12件、
自由テーマ 14件
特別研究指定校 2件：小学校 1件、中等教育学校・中高一貫校 1件

<一般 1カ年、30万円・50万円>

小学校 (21件)

A:課題テーマ① B:課題テーマ② C:自由テーマ

都道府県	学校名	テーマ	都道府県	学校名	テーマ
北海道	北見市立美山小学校	C	静岡県	沼津市立今沢小学校	A
北海道	札幌市立豊平小学校	A	愛知県	常滑市立大野小学校	A
北海道	札幌市立北光小学校	B	京都府	相楽東部広域連合立笠置小学校	B
福島県	学校法人ザベリオ学園 郡山ザベリオ学園小学校	A	大阪府	大阪市立今里小学校	A
茨城県	潮来市立延方小学校	A	大阪府	東大阪市立若江小学校	A
茨城県	日立市立助川小学校	A	島根県	松江市立島根小学校	A
東京都	練馬区立豊玉小学校	B	広島県	三次市立八次小学校	B
東京都	八王子市立高嶺小学校	A	徳島県	三好市立西井川小学校	A
神奈川県	横浜市立旭小学校	A	愛媛県	西条市立神拝小学校	A
神奈川県	横浜市立白幡小学校	A	鹿児島県	伊佐市立南永小学校	C
新潟県	新潟市立桃山小学校	A			

中学校 (13件)

都道府県	学校名	テーマ	都道府県	学校名	テーマ
北海道	学校法人国際学園 星槎もみじ中学校	A	滋賀県	守山市立守山南中学校	B
北海道	札幌市立宮の森中学校	C	滋賀県	栗東市立栗東中学校	A
茨城県	水戸市立第四中学校	A	京都府	舞鶴市立和田中学校	A
群馬県	安中市立松井田中学校	A	広島県	国立大学法人 広島大学附属三原中学校	C
東京都	渋谷区立渋谷本町学園中学校	A	熊本県	熊本市立芳野中学校フレンドリーオンライン	A
東京都	武蔵村山市立第三中学校	B	鹿児島県	いちき串木野市立羽島中学校	B
滋賀県	守山市立明富中学校	B			

高等学校（10件）

都道府県	学校名	テーマ	都道府県	学校名	テーマ
北海道	北海道岩見沢農業高等学校	A	大阪府	大阪府立今宮工科高等学校(全日制の課程)	A
神奈川県	神奈川県立鶴見総合高等学校	C	大阪府	大阪府立東住吉総合高等学校	A
石川県	石川県立松任高等学校	C	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	C
静岡県	静岡県立天竜高等学校	A	愛媛県	愛媛県立伊予高等学校	A
静岡県	静岡県立富岳館高等学校	A	愛媛県	国立大学法人愛媛大学附属高等学校	A

義務教育学校・小中一貫校/中等教育学校・中高一貫校（8件）

都道府県	学校名	テーマ	都道府県	学校名	テーマ
茨城県	学校法人東洋大学 東洋大学附属牛久中学校・高等学校	A	和歌山県	学校法人和歌山信愛女学院 和歌山信愛中学校高等学校	A
群馬県	群馬県立中央中等教育学校	A	海外	コロボ日本人学校	A
東京都	学校法人芝学園 芝中学校・高等学校	A	海外	テヘラン日本人学校	C
愛知県	国立大学法人 名古屋大学教育学部附属中・高等学校	A	海外	ブルーミントン日本語補習校	A

特別支援学校（7件）

都道府県	学校名	テーマ	都道府県	学校名	テーマ
埼玉県	埼玉県立和光特別支援学校	C	兵庫県	兵庫県立氷上特別支援学校	B
東京都	国立大学法人 筑波大学附属大塚特別支援学校	C	広島県	広島県立福山特別支援学校	B
東京都	国立大学法人 筑波大学附属視覚特別支援学校	A	沖縄県	沖縄県立沖縄盲学校	C
愛知県	愛知県立名古屋特別支援学校	A			

複数校の研究者による教育研究グループ（9件）

都道府県	学校名	テーマ	都道府県	学校名	テーマ
北海道	北海道高等学校遠隔授業配信センター	C	神奈川県	かながわトリプルアイPROJECT	A
千葉県	柏アントレプレナーシップ教育推進研究会	A	新潟県	中越言語・難聴教育研究協議会	B
千葉県	柏メディア教育研究会	A	大阪府	大阪府高等学校生物教育研究会	B
東京都	全国英語教育研究団体連合会研究部	A	熊本県	熊本市小学校体育研究会	C
神奈川県	愛川町国際教育研究会	C			

<特別研究指定校 2カ年、150万円>

都道府県	学校名
香川県	多度津町立多度津小学校

都道府県	学校名
鹿児島県	学校法人津曲学園 鹿児島修学館中学校・高等学校

2025年度「事業報告の附属明細書」について

2025年度事業報告は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、附属明細書を作成しない。

以上